

M割

(ミュージアム割引)

術館もしくは栃木県博物館協会のM割参加館の半券を窓口 で提示してください。団体割引料金でご覧いただけます。

リピーターさんに 素敵なプレゼント!

(2021年4月から2022年3月まで)

1回の有料入館(前売券を含む)で1個 スタンプを押します。スタンプ3個で 素敵なプレゼントをさしあげます。

(署名されたご本人に限り有効です)

○開館時間/午前9時30分~午後5時

○休館 日/毎週月曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館)、祝休日の翌日(祝休日の翌日が 土・日曜の場合は開館)、展示替え期間、年末年始

○観 覧 料/一般520円(20名以上の団体は470円)

大学生以下・障害者手帳等をお持ちの方とその介添者1名は観覧無料。団体以外は来館予約不要。 窓口で観覧券をご購入ください(現金のみ)。混雑時にはご入室をお待ちいただく場合がございます。

佐野市立吉澤記念美術館

〒327-0501 栃木県佐野市葛生東1-14-30 | TEL.0283-86-2008 http://www.city.sano.lg.jp/museum/ FAX.0283-84-3655



特別企画展



森森縣羊 /彩磁日下羊 / 女士志》。

齊藤勝美展

— ただひたすらに彩磁をもとめて — 併催:齊藤勝美が見る吉澤コレクションの板谷波山

 $2月23日(火・祝) \Rightarrow 7月4日(日)$

栃木県宇都宮市在住の陶芸家・齊藤勝美(1958年生)の初の回顧展です。板 台波山に憧れ、独学で高度な彩磁技法を 獲得しました。多色の影磁による淡く繊 細な彩色と、緻密な彫刻により独自の世 界を確立しています。息をのむような美し さを持つ齊藤作品を一覧できる初めての 機会です。



齊藤勝美《葆光彩磁香炉「掌華」》*

収蔵企画展



福岡青嵐《六歌仙》部分

みやび

一 古典の華やぎ 一

7月17日(±) ⇒ 9月5日(日)

今も昔も人々を魅了する雅やかな王朝文化。 その美意識と伝統は「古典」として受け継がれ、日本美術を華やかに彩ってきました。この展覧会では、物語や和歌、舞楽など古典に取材した近世から現代までの絵画・工芸作品を中心に、優雅な美の競演をご覧いただきます。また、丑年の式年祭を記念し朝日森天満宮の社宝が特別出展されます。



収蔵企画展

画面のモンダイ

伊藤若冲《菜蟲譜》公開(10/30~11/14)

 伊藤若冲《菜蟲譜》は約11mの長い絵ですが、5枚の絵絹をつないで描かれており、各紙ごとに構成が練られています。 画家や工芸家はどんなことを考えて、構図を考えたり文様デザインをしたりしているのでしょうか?作品を見るときのヒント、自分で作る時のヒントにもなる展覧会です。



アートリンクとちぎ2021・小杉放菴生誕140年



放養と寛方

併催:吉澤コレクションの陶芸 - 生誕150年・板谷波山 -

2022年 1月22日出 ⇒ 3月6日(日)

栃木ゆかりの画家・小杉放菴 (1881-1964) と荒井寛方 (1878-1945)。同時代の画壇で活躍した二人の同郷画家の創作の変遷を栃木県立美術館の所蔵品でたどる展覧会です。放菴と寛方がそれぞれに築いた独自の画境を対照的に浮かび上がらせ、その芸術性と作品の魅力を紹介します。



荒井寬方《阿弥陀》栃木県立美術館蔵

特別企画展



王欽古

一 京から来て、佐野に住んだ南画家 -

併催:吉澤コレクションの陶芸 - 陶芸家と京都の関係 -

3月19日(±) ⇒ 5月8日(日)

幕末から明治の佐野で活躍した南画家を「発掘」する展覧会です。王(加藤)飲古(1830-1905)は、京都の真ん中に生まれ、 呉春門下の小田海僊に学びました。南画家として各地を遊歴した末に現在の佐野市田沼地区に居を定め、全国規模の美門派で高い評価を得ました。地元でも専門家も「知る人ぞ知る」画家の、美術館での初めての単独展です。



王欽古《桃李園夜宴図》部分*

表紙:小倉芳司《爽涼》「画面のモンダイ」(前期)で展示

板谷波山作品は、収蔵品約40点の中から

常に4~5点を展示しております。

